

平成26年度全国健康保険協会(健康保険)決算報告書の概要

- 健康保険勘定の収入は9兆7,784億円となっており、その主な内訳は、保険料等交付金が8兆2,796億円(84.7%)、任意継続被保険者保険料が836億円(0.9%)、国庫補助金・負担金が1兆4,029億円(14.3%)等となっています。
- 健康保険勘定の支出は9兆6,084億円となっており、その主な内訳は、保険給付費が5兆739億円(52.8%)、後期高齢者支援金等の拠出金等が3兆4,854億円(36.3%)、介護納付金が8,967億円(9.3%)、業務経費・一般管理費が1,370億円(1.4%)等となっています。
- 健康保険勘定の收支差1,700億円は累積収支に繰り入れます。

		26年度予算 (①)	26年度決算(②)		差額(②-①)
			医療分	介護分	
収入	保険料等交付金	82,796	82,796	75,265	7,531
	任意継続保険料	865	836	779	58
	国庫補助金等	14,038	14,029	12,559	1,471
	その他	141	123	123	-
			(小計)	88,725	9,059
計		97,839	97,784		△ 55
支出	保険給付費	51,572	50,739	50,739	-
	拠出金等	35,106	34,854	34,854	-
	介護納付金	8,967	8,967	-	8,967
	業務経費・一般管理費	1,611	1,370	1,370	-
	その他	31	154	154	-
	累積収支への繰入	553	-	-	-
			(小計)	87,117	8,967
計		97,839	96,084		△ 1,755
収支差		0	1,700		1,700

(注1) 東日本大震災関係の特例等は以下の通り。

- ① 国庫補助金には、平成26年度災害臨時特例補助金(2,110百万円)、平成26年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金(2百万円)を含めて計上している。
- ② 保険給付費には、一部負担金等免除に伴う費用(2,087百万円)を含めて計上している。
- ③ 業務経費・一般管理費には、健診及び保健指導の自己負担金の免除に係る費用(11百万円)を含めて計上している。
- ④ 支出のその他には、平成25年度災害臨時特例補助金返還金(193百万円)、平成25年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金返還金(3百万円)を含めて計上している。

(注2) 計数は、四捨五入のため一致しない場合がある。

平成26年度全国健康保険協会(船員保険)決算報告書の概要

- 船員保険勘定の収入は470億円となっており、その主な内訳は、保険料等交付金が348億円(74.2%)、疾病任意継続被保険者保険料が13億円(2.8%)、国庫補助金・負担金が30億円(6.4%)、職務上年金給付費等交付金が61億円(12.9%)、累積収支からの戻入が15億円(3.3%)等となっています。
- 船員保険勘定の支出は444億円となっており、その主な内訳は、保険給付費が259億円(58.2%)、後期高齢者支援金等の拠出金等が117億円(26.3%)、介護納付金が34億円(7.6%)、業務経費・一般管理費が33億円(7.4%)等となっています。
- 船員保険勘定の収支差25億円は累積収支に繰入れます。

(単位:億円)

		26年度		
		予算額(a)	決算額(b)	予算決算 差額(b-a)
収 入	保険料等交付金	348	348	-
	疾病任意継続被保険者保険料	10	13	3
	国庫補助金等	30	30	△ 0
	職務上年金給付費等交付金	61	61	-
	その他	3	2	△ 1
	累積収支からの戻入	15	15	0
計		467	470	3
支 出	保険給付費	267	259	△ 8
	拠出金等	118	117	△ 1
	介護納付金	34	34	0
	業務経費・一般管理費	42	33	△ 10
	その他	2	2	0
	予備費	3	-	△ 3
	累積収支への繰入	1	-	△ 1
計		467	444	△ 23
収支差		0	25	25

(注1) 東日本大震災関係の特例等は以下のとおり。

- ① 国庫補助金には、平成26年度災害臨時特例補助金(11百万円)、平成26年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金(0.4万円)を含めて計上している。
- ② 支出のその他には、平成25年度災害臨時特例補助金返還金(10百万円)、平成25年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金返還金(0.5万円)を含めて計上している。

(注2) 計数は、四捨五入のため一致しない場合がある。